



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

平成29年8月10日

上場会社名 MRT株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6034 URL https://medrt.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 馬場 稔正
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 西岡 哲也 TEL 03-6415-5295
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	395	35.5	82	△6.1	75	△10.2	46	△19.8	46	△19.7	33	△42.5
29年3月期第1四半期	291	—	87	—	84	—	58	—	58	—	58	—

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	8.89	8.17
29年3月期第1四半期	11.12	10.17

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	1,982	1,521	1,473	74.3
29年3月期	1,930	1,487	1,440	74.6

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
30年3月期	—				
30年3月期（予想）		0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,520	31.7	30	△80.9	20	△85.9	10	△88.7	10	△88.7	1.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 -社（社名）、除外 -社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期1Q	5,248,000株	29年3月期	5,246,400株
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	167株	29年3月期	167株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期1Q	5,247,516株	29年3月期1Q	5,225,827株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結損益計算書	6
(3) 要約四半期連結包括利益計算書	7
(4) 要約四半期連結持分変動計算書	8
(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(セグメント情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループを取り巻く医療・ヘルスケア業界においては、高齢化社会の進行とともに医師や看護師をはじめとする医療の担い手不足や地域偏在、そして診療科偏在が課題に挙げられ、医療従事者の需要はますます高まっております。このような中、政府は、医療・介護分野における最先端技術の活用、ビッグデータの活用及び情報通信技術（ICT）インフラの整備に取り組んでおり、遠隔診療においては、2018年度の診療報酬改定に向けて、医療の質や生産性が向上するよう、診療報酬の評価を行うことを進めております。これにより、遠隔診療への注目が高まり、遠隔診療の活用に向けて環境の整備が期待されております。

このような状況のなか、当社グループは、関東、東海、関西エリアを中心に営業基盤の強化及び医師や看護師のネットワークの拡大を図ってまいりました。さらには、九州エリアにおける当社グループの周知及びサービスの拡大を目的に、福岡営業所を開設いたしました。非常勤医師紹介件数の増加、及び前連結会計年度における連結子会社の増加が寄与し、売上収益は順調に推移しました。

また、2017年4月に診療予約やオンライン決済等の機能を追加した「遠隔診療ポケットドクター」の提供を開始する一方、医療機関における営業体制の強化を図り、人件費及び販売活動に係る費用が増加しました。さらには、関連会社が提供する微量採血による血液検査サービスの販売体制の強化も併せて行ってまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上収益は395,444千円（前年同四半期比35.5%増）、営業利益は82,432千円（同6.1%減）、税引前四半期利益は75,708千円（同10.2%減）、親会社の所有者に帰属する四半期利益は46,671千円（同19.7%減）となりました。

また、売上収益の内訳は、医療人材サービス（医師、その他の医療従事者）381,802千円（同33.7%増）、その他13,642千円（同115.3%増）であります。

(2) 財政状態に関する説明

①財政状態の分析

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計につきましては、1,982,355千円となり、前連結会計年度末に対して51,535千円増加しました。これは、主に金融商品の公正価値測定等により非流動資産のその他の金融資産が18,972千円減少しましたが、現金及び現金同等物が72,783千円増加、営業債権及びその他の債権が18,729千円増加したことによります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計につきましては、461,013千円となり、前連結会計年度末に対して17,864千円増加しました。これは、主に未払法人所得税が17,497千円増加したことによります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における資本合計につきましては、1,521,341千円となり、前連結会計年度末に対して33,670千円増加しました。これは、主に親会社の所有者に帰属する四半期利益の計上により利益剰余金が増加したことによります。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、923,576千円となり、前連結会計年度末に対して72,783千円増加しました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間の営業活動の結果得られた資金は77,534千円（前年同四半期は31,116千円の使用）となりました。これは、主に営業債権及びその他の債権18,729千円の増加、営業債務及びその他の債務9,477千円の減少、法人所得税の支払額が9,609千円ありましたが、税引前四半期利益75,708千円の計上、減価償却費及び償却費14,863千円の計上等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間の投資活動の結果使用した資金は1,844千円（前年同四半期比92.5%減）となりました。これは、主にセキュリティに係るソフトウェア等の無形資産の取得による支出2,230千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間の財務活動の結果使用した資金は2,906千円(前年同四半期は443千円の獲得)となりました。これは、主に長期借入金の返済による支出2,991千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しについては、「遠隔診療ポケットドクター」のサービス拡大を早期に実現するため、積極的な投資による事業基盤の強化に取り組んでまいります。併せて、IFRSの任意適用に関わる調整を踏まえて、2017年6月30日に未公表としておりました連結業績予想(IFRS)を2017年8月10日に公表しております。

なお、連結業績予想(IFRS)については、2017年8月10日公表の「業績予想(IFRS)の開示に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2017年6月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	850,792	923,576
営業債権及びその他の債権	175,802	194,531
棚卸資産	1,514	588
その他の金融資産	900	—
その他の流動資産	36,107	26,338
流動資産合計	1,065,116	1,145,034
非流動資産		
有形固定資産	64,408	61,634
のれん	222,801	222,801
無形資産	68,221	57,916
持分法で会計処理されている投資	128,674	122,219
その他の金融資産	336,967	317,994
繰延税金資産	12,278	18,095
その他の非流動資産	32,351	36,659
非流動資産合計	865,703	837,320
資産合計	1,930,820	1,982,355

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2017年6月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	157,366	146,989
借入金	11,104	11,187
その他の金融負債	10,411	13,424
未払法人所得税	14,640	32,137
その他の流動負債	67,872	76,037
流動負債合計	261,395	279,775
非流動負債		
借入金	19,106	16,032
その他の金融負債	100,953	101,131
退職給付に係る負債	42,436	44,806
引当金	19,256	19,267
非流動負債合計	181,753	181,237
負債合計	443,148	461,013
資本		
資本金	426,075	426,180
資本剰余金	377,089	377,239
利益剰余金	534,233	580,904
自己株式	△191	△191
その他の資本の構成要素	102,924	89,697
親会社の所有者に帰属する持分合計	1,440,130	1,473,830
非支配持分	47,540	47,511
資本合計	1,487,671	1,521,341
負債及び資本合計	1,930,820	1,982,355

(2) 要約四半期連結損益計算書

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2016年4月1日 至2016年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年6月30日)
売上収益	291,922	395,444
売上原価	△44,983	△97,899
売上総利益	246,939	297,545
販売費及び一般管理費	△159,146	△215,283
その他の収益	—	170
営業利益	87,792	82,432
持分法による投資損失	△1,778	△6,454
金融収益	—	2
金融費用	△1,698	△272
税引前四半期利益	84,315	75,708
法人所得税費用	26,123	29,065
四半期利益	58,191	46,642
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	58,098	46,671
非支配持分	93	△29
四半期利益	58,191	46,642
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	11.12	8.89
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	10.17	8.17

(3) 要約四半期連結包括利益計算書

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2016年4月1日 至2016年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年6月30日)
四半期利益	58,191	46,642
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測 定する金融資産	—	△13,182
純損益に振り替えられることのない項目 合計	—	△13,182
税引後その他の包括利益	—	△13,182
四半期包括利益	58,191	33,460
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	58,098	33,489
非支配持分	93	△29
四半期包括利益	58,191	33,460

(4) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自 2016年4月1日 至 2016年6月30日)

(単位:千円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	非支配持分	資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素			
2016年4月1日時点の残高	425,010	375,423	442,094	△70	3,752	1,246,210	47,847	1,294,058
四半期利益			58,098			58,098	93	58,191
その他の包括利益								
四半期包括利益合計			58,098			58,098	93	58,191
株式の発行	455	517			△62	910		910
株式に基づく報酬取引					544	544		544
所有者との取引額合計	455	517	—	—	481	1,454	—	1,454
2016年6月30日時点の残高	425,465	375,941	500,192	△70	4,233	1,305,762	47,941	1,353,703

当第1四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)

(単位:千円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	非支配持分	資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素			
2017年4月1日時点の残高	426,075	377,089	534,233	△191	102,924	1,440,130	47,540	1,487,671
四半期利益			46,671			46,671	△29	46,642
その他の包括利益					△13,182	△13,182		△13,182
四半期包括利益合計			46,671		△13,182	33,489	△29	33,460
株式の発行	105	149			△44	210		210
所有者との取引額合計	105	149	—	—	△44	210	—	210
2017年6月30日時点の残高	426,180	377,239	580,904	△191	89,697	1,473,830	47,511	1,521,341

(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2016年4月1日 至2016年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	84,315	75,708
減価償却費及び償却費	7,917	14,863
金融収益	—	△2
金融費用	1,698	272
持分法による投資損益(△は益)	1,778	6,454
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	△44,609	△18,729
棚卸資産の増減額(△は増加)	△1,298	926
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	△19,710	△9,477
その他	△17,918	17,175
小計	12,173	87,191
利息及び配当金の受取額	—	2
利息の支払額	△6	△49
法人所得税の支払額	△43,284	△9,609
営業活動によるキャッシュ・フロー	△31,116	77,534
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	—	△454
無形資産の取得による支出	△24,505	△2,230
その他	—	840
投資活動によるキャッシュ・フロー	△24,505	△1,844
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	—	△2,991
リース債務の返済による支出	△466	△125
株式の発行による収入	910	210
財務活動によるキャッシュ・フロー	443	△2,906
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△55,178	72,783
現金及び現金同等物の期首残高	1,084,641	850,792
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,029,462	923,576

(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

当社グループは、医療情報プラットフォーム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。